

大分県防災への先端技術の活用に関する検討会 概要

「先端技術への挑戦」を掲げる大分県として、AIや衛星データ、ドローン等を活用し、また、民間活力も最大限に活かした地域防災力の向上について、継続的な議論を行う。各年度事業にも反映させていく。

【現状・課題】

- ◆ 近年、地震や豪雨による自然災害が増加
(大分県の近年の事例)
 - ・H28.4 熊本地震(大分県も甚大な被害)
 - ・H29.7 日田市で地滑り(九州北部豪雨)
 - ・H29.9 津久見市が台風による水害
 - ・H30.4 中津市で地滑り
 - ・R 2.7 日田市・九重町・由布市等での豪雨
- ◆ 南海トラフ含め、甚大な被害を低減するための地域防災力向上は大きな社会課題。
- ◆ コロナ対策でも、人流データ可視化やAIの活用が進む。地域防災力向上に関しても、平時から定量化・可視化し、更なる改善につなげていく仕組みを構築することが必要。

【先端技術活用に係る論点】

- ◆ 先端技術を
 - ① 平常時から活用できないか
 - ② 災害時の情報収集に活用できないか
 - ③ 災害時の対応方針決定に活用できないか
 - ④ 避難情報等応急対応時に活用できないか
 - ⑤ 復旧復興に活用できないか
- ◆ また、
 - ⑥ 先端技術を活用するための課題は何か
 - ⑦ 目指すべき防災の姿及びそこへのステップ
 - ⑧ 7月豪雨から見えた更なる改善余地は何か

防災テック検討会の今後の展開について

展開方針

- 県防災の抱える課題を本検討会により抽出
- 短期的(1年)な課題解決に向けて取り組む課題、中・長期的(3~5年)に検討を継続する課題に整理し、課題解決を検討
- 実現可能な短期的取組などについて、県予算要求(事業化)などを通して県防災に反映
- 県内企業などが持つ先端技術(シーズ)を紹介し、県内自治体が抱える防災上の課題(ニーズ)とのマッチングを実施
→県防災の課題解決、県内企業の防災ビジネスへの参入・展開を支援

令和2年度	第1回 (R2.10.28)	<ul style="list-style-type: none"> ○委員長の選任 ○県防災が抱える課題の共有と今後の方針について(検討) 	<ul style="list-style-type: none"> ○各機関の動向・取組状況の共有 ○先端技術(全般)の紹介 ○今後の取組(整理) (短期的取組について) (中・長期的取組について)
-------	----------------	--	---

令和3年度	第1回(4月)	<ul style="list-style-type: none"> ○先端技術の紹介 ○短期 <u>(課題解決に向けた議論)</u> ○中・長期 (課題解決に向けた議論) 	<ul style="list-style-type: none"> ○先端技術の紹介 ○短期 <u>(R4での課題解決に向けた整理)</u> ○中・長期 (課題解決に向けた議論) 	<ul style="list-style-type: none"> ○先端技術の紹介 ○短期 <u>(R4に取り組む事業の方針決定)</u> (新たな課題の抽出) ○中・長期 (課題解決に向けた議論) (新たな課題の抽出) 	<ul style="list-style-type: none"> ○先端技術の紹介 ○短期 <u>(R4に取り組む事業案の報告)</u> ○中・長期 (課題解決に向けた議論) (新たな課題の抽出)
-------	---------	---	---	---	---

R4 県事業・予算
→ 県防災への反映

令和4年度	第1回(4月)	<ul style="list-style-type: none"> ○先端技術の紹介 ○短期 <u>(課題解決に向けた議論)</u> ○中・長期 (課題解決に向けた議論) 	<ul style="list-style-type: none"> ○先端技術の紹介 ○短期 <u>(R5での課題解決に向けた整理)</u> ○中・長期 (課題解決に向けた議論) 	<ul style="list-style-type: none"> ○先端技術の紹介 ○短期 <u>(R5に取り組む事業の方針決定)</u> (新たな課題の抽出) ○中・長期 (課題解決に向けた議論) (新たな課題の抽出) 	<ul style="list-style-type: none"> ○先端技術の紹介 ○短期 <u>(R5に取り組む事業案の報告)</u> ○中・長期 (課題解決に向けた議論) (新たな課題の抽出)
-------	---------	---	---	---	---

R5 県事業・予算
→ 県防災への反映